

防護柵への付着金属片調査委員会
報告書

平成17年7月

はじめに

今般、全国の防護柵で多数の付着金属片が発見され、防護柵に付着した金属片により歩行者や自転車利用者が負傷した事故の存在も明らかになった。

今後、事故を防ぐための効果的な対策を実施していくためには、金属片の付着原因を究明した上で対策を検討することが必要である。

本委員会は、国土交通省の依頼を受け、金属片が付着した原因を究明し、今後の対応を検討することを目的として設置されたものであり、3回の委員会を開催し、現地調査、実験等も実施して調査検討を行ってきた。

本報告書は、その調査結果を取りまとめたものである。

防護柵への付着金属片調査委員会

「防護柵への付着金属片調査委員会」

委員名簿

(委員長)

元田 良孝 岩手県立大学 総合政策学部 教授

(副委員長)

赤羽 弘和 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 教授

飯田 久雄 鋼製防護柵協会 技術委員会 委員長

伊藤 勝利 (社) 日本自動車工業会 技術統括部 部長

大西 博文 国土技術政策総合研究所 道路研究部 部長

住田 俊介 (財) 交通事故総合分析センター

つくば交通事故調査事務所長 兼 常務理事”

山岡 成行 (株) 自研センター 取締役

(委員：五十音順)

防護柵への付着金属片調査委員会 開催状況

○6月8日(水) 第1回委員会開催

- ・緊急点検結果について
- ・分析について
- ・サンプルデータ（大宮国道事務所管内）の分析結果について
- ・原因分析の進め方について
- ・委員会の検討スケジュールについて

○6月21日(火) 第2回委員会開催

- ・現地調査
- ・金属片の付着状況の調査結果について
- ・大宮国道事務所管内の付着原因の究明について
- ・全国の付着原因の究明について
- ・調査の進め方について
- ・今後のスケジュールについて

○7月29日(金) 第3回委員会開催

- ・付着金属片の原因究明
- ・今後の対応
- ・調査とりまとめ

目 次

1. 調査の目的・内容.....	1
2. 金属片の付着状況調査.....	3
3. 金属片の材料分析.....	12
4. 現地調査.....	19
5. 室内実験.....	21
6. 実車実験.....	27
7. ガードレール清掃車による金属片の向きの反転に関する実験.....	32
8. 金属片の視認性実験.....	36
9. 金属片の由来に関する関係機関の調査結果等.....	38
10. 付着金属片の発生原因.....	40
11. 今後の対応.....	41

参考資料